

CIMPHONY Plusとの連携（データ受け渡し）

FIELD-TERRACEとCIMPHONY Plus間でデータをアップロード/ダウンロードする操作を説明します。

1 CIMPHONY Plus からダウンロード…… CIMPlus-2

1-1 XFD ファイルをダウンロードして現場を新規作成する …………… CIMPlus-3

1-2 XFD ファイルをダウンロードして設計データを取り込む…………… CIMPlus-6

2 CIMPHONY Plus へアップロード ……… CIMPlus-9

2-1 記録データをアップロードする …………… CIMPlus-10

1

CIMPHONY Plus からダウンロード

CIMPHONY Plusから弊社プログラム間の連携用ファイル（XFDファイル）をダウンロードして、

- ・現場の新規作成
- ・設計データの取り込み

をおこなうことができます。

※ダウンロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。

（「参照者」のユーザーはダウンロードできません。）

※工期が終了した現場からダウンロードすることはできません。

ダウンロードする XFD ファイルの格納場所は

ダウンロードする XFD ファイルは、弊社各プログラムから CIMPHONY Plus にアップロードした XFD ファイルです。CIMPHONY Plus [ファイル管理] の [連携] - [プログラム名] - [FC 連携ファイル] フォルダに格納されています。

The screenshot shows the CIMPHONY Plus interface with the following structure:

- Folder: 共有
- Folder: 座標
- Folder: 図面
- Folder: 設計
- Folder: 3Dモデル
- Folder: 点群
- Folder: オルソ画像
- Folder: 連携
- Folder: どこでも写真管理Plus
- Folder: EX-TREND武蔵
 - Folder: 黑板・分類・豆図
 - Folder: 出来形・品質
 - Folder: FC連携ファイル
- Folder: FIELD-TERRACE
 - File: FIELD-TERRACE_模型データ_202402290948.xfd
 - Folder: 座標データ
 - Folder: 図面データ/未設定
 - Folder: 図面データ/平面図
 - Folder: 図面データ/縦断面図
 - Folder: 図面データ/横断面1

Below the screenshot, four program-specific examples are shown, each with a highlighted 'FC連携ファイル' folder:

- EX-TREND武蔵**
 - Folder: 黑板・分類・豆図
 - Folder: 出来形・品質
 - Folder: FC連携ファイル
- TREND-ONE Mercury-ONE**
 - Folder: ONE
 - Folder: FC連携ファイル
- TREND-FIELD**
 - Folder: TREND-FIELD
 - Folder: FC連携ファイル
- TREND-CORE**
 - Folder: TREND-CORE
 - Folder: FC連携ファイル

1-1 XFDファイルをダウンロードして現場を新規作成する

CIMPHONY PlusからXFDファイルをダウンロードして、現場を新規作成する手順を解説します。

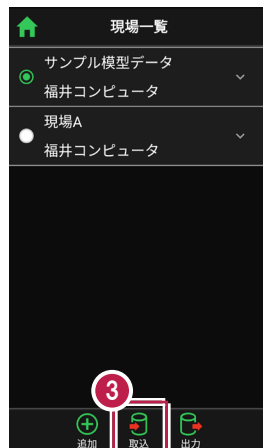
- 1 ホーム画面の [メニュー] をタップします。



- 2 [現場 切り替え] をタップします。



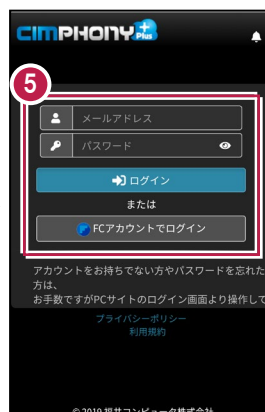
- 3 [取込] をタップします。



- 4 取込元の選択で [CIMPHONY Plus] を選択して、[次へ] をタップします。



- 5 CIMPHONY Plus のログイン画面が表示されます。



- 6 CIMPHONY Plus の「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」で [ログイン] します。

- 7 CIMPHONY Plus 内の現場が一覧表示されます。

接続する現場を選択して、[OK] をタップします。



CIMPHONY Plus と連携済みの場合は

既に CIMPHONY Plus と連携済みの場合は、5 ～ 7 の手順は省略される場合があります。

- 8 [取込元] をタップします。

- 9 「取込元」を選択します。アップロードしたXFDファイルの登録先（プログラム）を選択します。

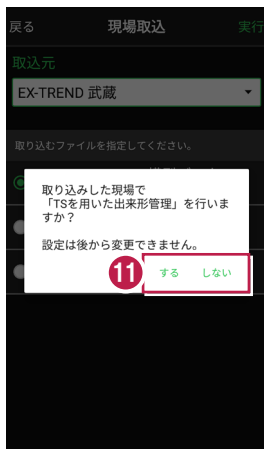
- 10 取り込むXFDファイルを選択して [実行] をタップします。



CIMPHONY Plus 「ファイル管理」の、[連携] - [プログラム名] - [FC連携ファイル] フォルダに格納されているXFDファイルが表示されます。

11 取り込んだ現場で
TS出来形計測を行う場合
は「する」を、
TS出来形計測を行わない
場合は「しない」を
選択します。

12 XFDファイルがダウンロードさ
れ、現場データが新規作成
されます。
XFDファイル内に
・座標データ
・CADデータ
・路線データ
・TINデータ
が含まれている場合は、
同時に取り込まれます。



1-2 XFDファイルをダウンロードして設計データを取り込む

CIMPHONY PlusからXFDファイルをダウンロードして、設計データ（座標データ、CADデータ、路線データ、TINデータ）を現場に取り込みます。

ここでは例として、座標データを取り込む手順で解説しますが、他のデータも同様の手順で取り込むことができます。

1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

2 [データ取込] をタップ
します。



3 データ取込画面で、
取り込むデータの種類を
選択します。

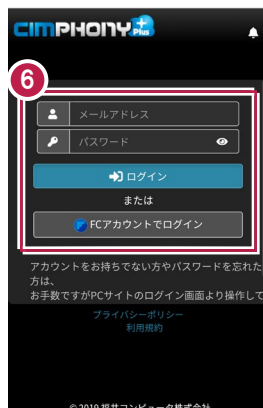
4 ここでは [座標データ] を
選択し、[次へ] をタップ
します。



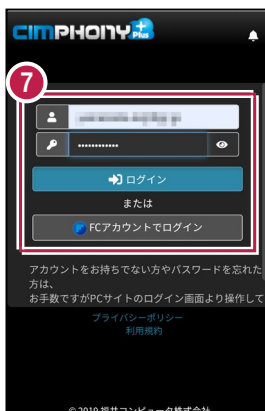
- 5 取込元の選択で
[CIMPHONY Plus] を
選択して、[次へ] を
タップします。



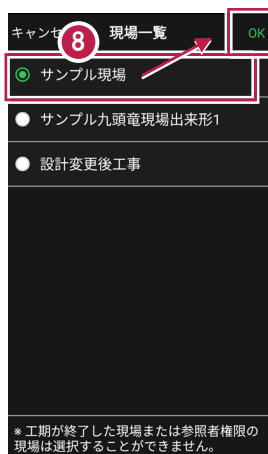
- 6 CIMPHONY Plus の
ログイン画面が表示されます。



- 7 CIMPHONY Plus の
「メールアドレス」と
「パスワード」、または
「FC アカウント」
で [ログイン] します。



- 8 CIMPHONY Plus 内の
現場が一覧表示されます。
接続する現場を選択して、
[OK] をタップします。



CIMPHONY Plus と連携済みの場合は

既に CIMPHONY Plus と連携済みの場合は、6 ~ 8 の手順は省略される場合があります。

9 [取込元] をタップします。



10 「取込元」を選択します。
アップロードしたXFDファイル
の登録先（プログラム）を
選択します。

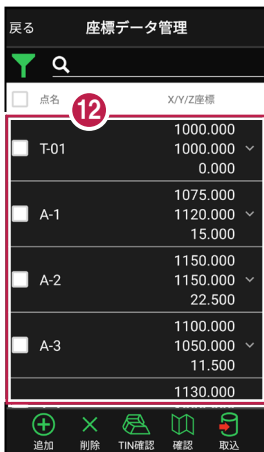


11 取り込むXFDファイルを
選択して [実行] をタップ
します。



CIMPHONY Plus 「ファイル管理」の、[連携] - [プログラム名] - [FC連携ファイル] フォルダに格納されているXFDファイルが表示されます。

12 XFDファイルがダウンロードされ、座標データが取り込まれます。



他のコマンドでも、設計データを取り込むことができます

ここでは [データ管理] から取り込む手順で解説しましたが、TIN データは [設計管理] - [TIN データ] で、図面 (CAD) は [図面表示] でも、同様に取り込むことができます。



2

CIMPHONY Plus へアップロード

CIMPHONY PlusへFIELD-TERRACEの記録データ

- ・座標データ (SIMA)
- ・座標データ (CSV)
- ・横断現況データ (SIMA)
- ・基本設計データ (XML)

をアップロードすることができます。

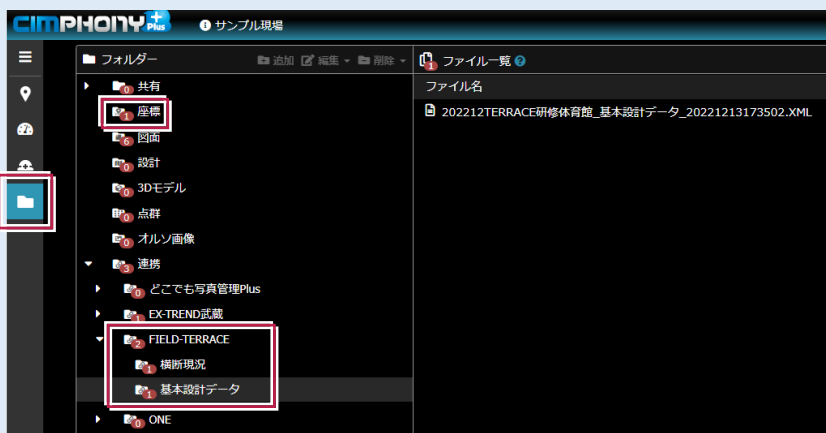
※アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。

(「参照者」のユーザーはアップロードできません。)

※工期が終了した現場へアップロードすることはできません。

アップロードした記録データの格納場所は

FIELD-TERRACEからアップロードした記録データは、CIMPHONY Plus [ファイル管理] の [座標]、もしくは [連携] - [FIELD-TERRACE] フォルダの [横断現況] [基本設計データ] の各フォルダに格納されます。

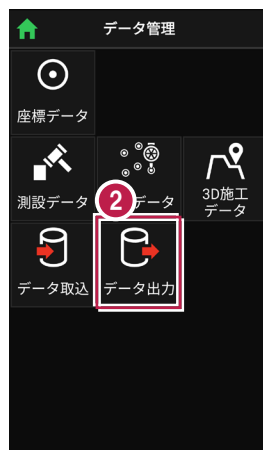


2-1 記録データをアップロードする

ここでは例として、座標データ（SIMA）をアップロードする手順で解説しますが、他のデータも同様の手順でアップロードすることができます。

1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

2 [データ出力] をタップ
します。



3 データ出力画面で、
出力するデータの種類を
選択します。

4 ここでは
[座標 (SIMA)] を
選択し、[次へ] をタップ
します。

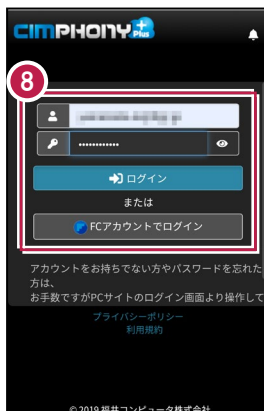
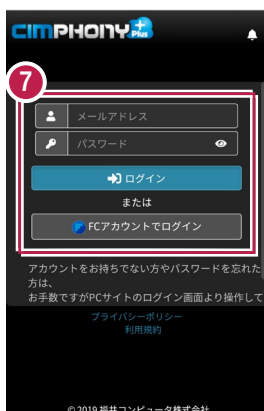


- 5 現場データ内の座標データを全て出力する場合は「全て」を選択して「次へ」をタップします。



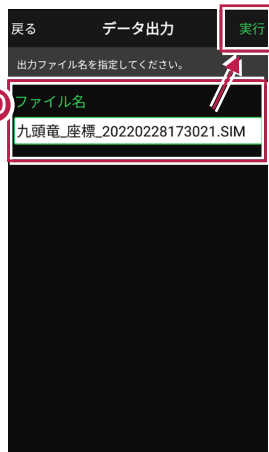
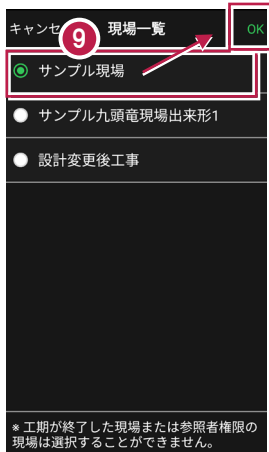
- 6 出力先の選択で「CIMPAPHY Plus」を選択して、「次へ」をタップします。

- 7 CIMPAPHY Plus のログイン画面が表示されます。



- 8 CIMPAPHY Plus の「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」で「ログイン」します。

- 9 CIMPAPHY Plus 内の現場が一覧表示されます。接続する現場を選択して、「OK」をタップします。



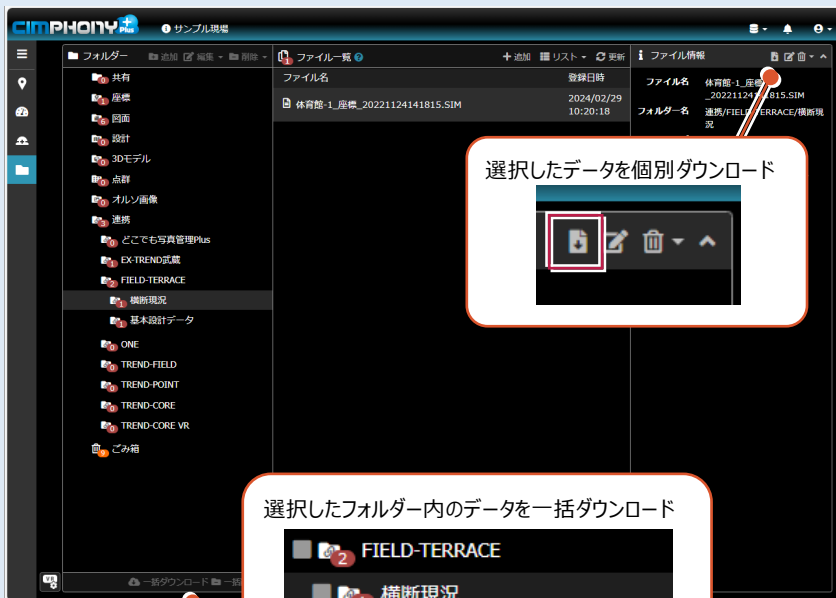
- 10 ファイル名を指定して「実行」をタップします。CIMPAPHY Plusの現場に座標データがアップロードされます。

CIMPHONY Plus と連携済みの場合は

既に CIMPHONY Plus と連携済みの場合は、⑦～⑨ の手順は省略される場合があります。

アップロードしたデータを利用するには

CIMPHONY Plus にアップロードした記録データは、弊社各プログラムで CIMPHONY Plus から取り込んで利用する、または、お使いの PC に直接ダウンロードして利用します。



選択したデータを個別ダウンロード

選択したフォルダー内のデータを一括ダウンロード

一括ダウンロード

CIMPHONY Plus へ計測座標が自動送信されます

CIMPHONY Plus と連携することで、FIELD-TERRACE で計測した座標が「接続先の現場」に自動送信されます。観測して「記録」するタイミングで送信されます。

送信した座標は CIMPHONY Plus の「共通ファイル」：「座標」－「座標管理」および「出来形データ」：「出来形」－「日々管理」－「計測点一覧」に登録されます。

<対応コマンド>

- ・ [測設] : [座標] [路線] [路線 (測点)] [横断変化点]
- ・ [観測] : [放射] [路線] [横断放射] [レベル]
- ・ [3D 施工] : [点検・検査] [点検・検査 (TIN)] [構造物] [出来形計測]
- ・ [遠隔検査]
- ・ [TS 出来形] : [計測・検査]

※ [観測] - [レベル] は、X,Y 座標が存在する目標点がセットされている場合のみ送信します。

※ [3D 施工] - [丁張] は対応していません。

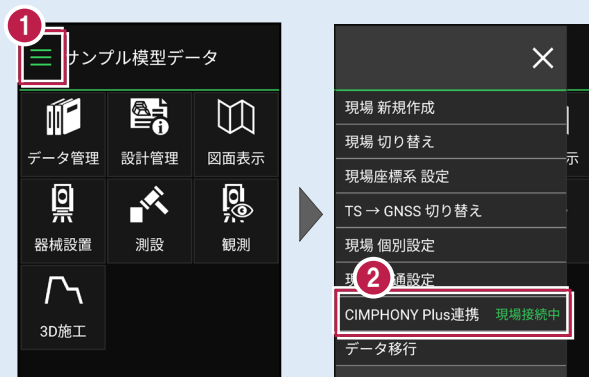
※ [遠隔検査] の結果は、CIMPHONY Plus の「出来形データ」：「出来形」－「検査」－「遠隔検査」および「検査結果一覧」に連携します。「座標管理」や「計測点一覧」には取り込まれません。

接続先の現場を変更する場合は（接続されている現場が不明な場合は）

ダウンロード/アップロード先の CIMPHONY Plus の現場を、別の現場に変更する場合は、ホーム画面の [メニュー] から [CIMPHONY Plus 連携] をタップして、接続先の現場を選択し直してください。

- 1 ホーム画面の [メニュー] をタップします。

- 2 [CIMPHONY Plus 連携] をタップして、接続先の現場を選択し直します。



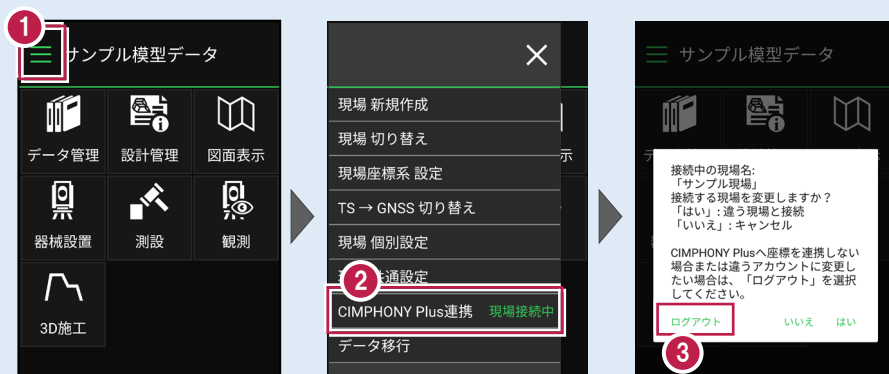
接続先の現場が表示されない場合は

ダウンロード/アップロード先の CIMPHONY Plus の現場が表示されない場合は、以下を確認してください。

● ログインしているユーザーは、現場に招待されたユーザーですか？

現場に招待されていないユーザーの場合、現場一覧に表示されません。

別のユーザーでログインしている可能性がありますので、一度ログアウトして、正しいユーザーで再ログインしてください。



(次ページへ続きます)

●「休止中」の現場ではありませんか？

現場一覧に表示されるのは「工期前」「工期中」「終了」の現場のみです。
WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインし、[休止中のみ]をオンにして確認してください。必要であれば「現場情報」の[休止]タブで現場を復帰してください。
([復帰]は「所有者」のユーザーのみ可能)

The screenshot shows the CIMPHONY Plus interface. In the top navigation bar, the filter '休止中のみ' (Only Paused) is selected, indicated by a red circle with the number 1. Below the navigation bar, the site list shows 'サンプル現場A' (Sample Site A) and '境界点' (Boundary Point). A red circle with the number 2 highlights the '休止' (Pause) button next to 'サンプル現場A'. On the right, the '現場情報' (Site Information) panel is open for 'サンプル現場A', with the '休止' (Pause) tab selected, indicated by a red circle with the number 3. Below the '現場情報' panel, a red circle with the number 4 highlights the '復帰' (Resume) button.

●ログインしているユーザーは「参照者」ではありませんか？

ダウンロード/アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。「参照者」のユーザーはダウンロード/アップロードできません。
WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインして、「現場情報」の[参加者]タブで[権限]を確認してください。必要であれば「所有者」のユーザーに、権限の変更を依頼してください。

The screenshot shows the '現場情報' (Site Information) panel for 'サンプル現場A'. The '参加者' (Participants) tab is selected. A table lists the participants:

氏名	会社名	権限
FC 管理者	福井コンピュータ株式会社	所有者
社員A	福井コンピュータスマート (株)	所有者
社員B	福井コンピュータ (株)	作成者
社員C	福井コンピュータアーキテクト (株)	参照者

A red circle with the number 4 highlights the '権限' (Permissions) dropdown menu, which is open and shows the following options: '所有者' (Owner), '所有者' (Owner), '作成者' (Creator), and '参照者' (Reference). A red circle with the number 5 highlights the '権限' label in a separate box.